事業所名　放課後等デイサービス　ハーモニー

支援プログラム

作成日　2025 年　3 月　10 日

法人（事業所）理念	私たちは利用児童の利益を最優先に考え、子どもたちの未来の可能性を広げる支援と心身の自立を大切にした関わりを提供します。多様で専門的な視点から支援を行い、総合的に関わりながら、科学的根拠に基づいた療育に取り組みます。			
支援方針	子どもたちの困り感について、脳のネットワーク機能の障害に基づいた視点と5領域を網羅した視点で捉え、アセスメントを実施します。アセスメント結果を分析し困り感の理由を分析してきます。また、活動に子どもたちを無理に合わせるのではなく、子どもたち一人ひとりに適応した活動を提供するため、個別または小集団での活動を計画・実施します。			
営業時間	12 時　0 分から　18 時　0 分まで		送迎実施の有無	（あり）　なし
	支　援　内　容			
本人支援	健康・生活	睡眠、食事、排泄など基本的な生活習慣を形成し、健康的な生活リズムやADLの自立を支援します。さらに、社会生活に必要なIADL(金銭や時間管理、公共交通機関の利用)の視点も重視します。学齢期には、二次障害やメンタルヘルスの課題に対応し、自尊感情や自己効力感を育むことで、子どもがこれらの課題を乗り越えられるようサポートします。		
	運動・感覚	子どもの感覚特性に配慮し、安心して活動できる環境を整えます。また、感覚、知覚、認知の視点を取り入れ、感覚入力を正確に処理できるよう、感覚遊びや識別訓練などの課題を提供します。粗大運動では、前庭感覚や固有感覚を意識しながら、バランス感覚や姿勢保持を養う活動を行います。微細運動では、手指の巧緻性を高める活動を通じて、日常生活や学習に必要なスキルの向上を目指します。		
	認知・行動	読み、書き、聞く、見る、推測する力の土台を築くために、眼球運動や視知覚、音韻意識、記憶力を総合的に支援します。これにより、集中力や注意機能、課題処理能力を高め、学習や日常生活の困難を軽減し、自信を持って取り組める力を育みます。(アセスメントを基に個々に応じた支援課題を実施します)		
	言語 コミュニケーション	視覚的・聴覚的指示理解を支援し、指示を正確に理解し行動に移す力を育てます。発話意欲や語彙、語想起の力を高め、発達を促しながら伝える力や説明力を支援します。必要に応じてICT機器を活用し、意思伝達や環境理解を支え、状況に応じたコミュニケーション能力の向上を目指します。		
	人間関係 社会性	ルール遊びを通じて、言語指示の理解や自己コントロールを支援し、相手の気持ちを考える機会を提供します。さらに、注意の切り替えや感情の抑制機能を高めることで、場面に応じた適切な行動が取れるよう支援します。また、相手の立場を理解し共感する力を育てることで、協力や対話を円滑に進める社会性の発達を促します。		
家族支援	家庭環境や子どもの特性を把握するため、定期的な面談や自宅訪問を通じて課題を共有し、日々の取り組みを支える相談援助を行い、家庭全体で連携しやすいサポート体制を整えます。	移行支援	子どものアセスメント結果や個別支援計画書なと支援内容に関する情報をモニタリングや担当者会議、面談を通じて共有します。	
地域支援・地域連携	・各種関係機関(学校、相談員、児童相談所)との連携を図る ・就労支援事業所などへの見学、訪問及び連携を図る	職員の質の向上	・内部及び外部（オンラインを含む）研修会への参加 ・随時スタッフの悩み相談のサポート体制	
主な行事等	・集団外出、季節のイベントを取り入れた活動(夏祭り,クリスマス会,季節ごとの制作など)			